

目次

1面

ウクライナ戦争が生み出した「翼賛」状況
「科学」による状況認識を

藤原 晃

2面

帝国主義戦争に抗するギリシャ労働者と連帯を！
ギリシャ共産党からの要請
KKEとKNEへの国際連帯の表明を

ギリシャ共産党中央委員会国際関係部

ギリシャ共産党への応答文

プロレタリア国際主義の旗のもとに連帯を表明する

<活動家集団思想運動>常任運営委員会

物価高騰と軍事関与に対する全国ストライキ
労働者人民の運動を激化させる重要な一歩

ギリシャ共産党中央委員会国際関係部

3面

戦争反対！ 日本の憲法改悪・核武装化と闘おう！

即時停戦！ 万国の労働者は団結せよ！

全国一般東京東部労働組合の5・1反戦メーデーへの呼びかけ

ウクライナの事態がまねいた反戦平和運動崩壊の危機

平和憲法が放棄される運動状況

同調圧力に屈せず事実と向き合おう

高梨晃嘉（神奈川県二区市民連絡会）

ウクライナの国旗を持ってはデモに行きません

西村ことみ（元日教組組合員）

4面

ウクライナ戦争 —— わたしはこう見る（続）

危機の原因を直視する

ロシア・ウクライナ戦争と「台湾危機」

浅井基文（国際問題研究者）

ホコ先を米帝に集中せよ

ウクライナ事態で進むアジア版NATO構想

李東埼（ジャーナリスト）

HOWS 2022年度前期開講 5月7日 ウクライナ情勢と朝鮮（高演義）

5面

大政翼賛的な状況がつくられるなかで今こそ核廃絶に向けた闘いを

岡本茂樹（医師）

本紙四月一日号のウクライナ問題特集を読む
ウクライナ戦争に思うこと

永好和夫（熊本県在住）

三春で四月一日号の合評会

二瓶一夫（福島県在住）

ナチスの侵攻とは違う

古賀滋（アジア新時代研究会）

戦争に反対する人たち

伊地知柊三（埼玉県在住）

四月一日号の主張に寄せて

金山明子（画家）

これは共産党のビラか

柴田清（東京都在住）

6面

エッセイ

鉄の踵——ウクライナ戦争の影響

木原健一（京都市在住）

米国外交政策の非道徳性について
ウクライナは「チェス盤のポーン」である

リック・スターリング（ジャーナリスト）

一九九一年以来のロシアについての年代記

ジャン・ブリクモン（ルーヴァン大学名誉教授）

7面

女性の労働者通信の合評会を開催して
浮きぼりになった女性労働者の今

倉田智恵子

女性労働者の通信（本紙三月一日号）を読んで
隣にいる人とつながろう

藤本愛子（国公労連）

労働者通信を読み考えたこと

川嶋ちさ子（元看護労働者）

前照灯

レーニンとツェトキン

8面

労働時評

経団連会長講演から読み解く日本独占資本の戦略
グリーンこそ現代資本主義の新たな「もうけ口」だ！

吉良 寛・自治体労働者

9面

日米、米韓の合同軍事演習反対！
米大使館に対し連続抗議行動

土松克典

大阪・火曜日行動一一年目に突入
諦めずに断念しないで

舘山英夫（北大阪朝鮮小中級学校を支える会）

労働者通信

「労基法上の労働者の地位」を求めて
わたしは日本政府が仕立てた「名ばかり個人事業主」

渡邊亜佐美（スーパーホテルユニオン）

労働者通信

美々卯スラップ訴訟が和解解決
支援に感謝、次は解雇争議の解決へ

北健一（ジャーナリスト）

10面

連載 2022 沖縄からのレポート ⑤
「祖国復帰 50年」の沖縄の現実

金治明（沖縄戦と朝鮮人強制連行を記録する会）

11面

基地は沖縄経済の阻害要因
沖縄の自立的発展阻んだ政府の振興策

大館まゆみ

カイロ・ポツダム体制を破壊したサ条約
琉球弧を再び戦場にするな！

阪上みつ子

壊憲攻撃阻止を訴えて開催
4・14 労働者・市民集会

友田幸枝

12面

福島原発事故被害者の証言集で
樋口健二さんが文学大賞を受賞

中村泰子

催物案内

頂門一針

「三鷹事件」といま

豊里友行写真集『沖縄にどう向き合うか』

写し取られた眼とシワは

井野茂雄

私の中の戦世

豊里友行

編集部発

付録 1 面～2 面

在米ウクライナ人は訴える

米国はウクライナを「砲弾の餌食」にするな！

西側はロシアへの戦争挑発をやめろ！

ユーリ・ドゥボビク（ウクライナ出身の左翼平和活動家）